

(2) 調査の具体的内容

① 一般原価調査

(i) 収益・費用データ等調査

- 一般原価調査では、前述の部門別原価計算（階梯式配賦）を実施するために必要な各部門で発生する収益・費用データを把握した上で、全病院統一の入力フォーマットに従った記入を依頼した。平成16年度調査研究では、平成16年6月時点での収益・費用データを分析対象とした。
- ただし、対象病院の会計処理の関係上、必ずしも全てのデータが提供可能であるとは限らないことから、入力必須項目としたデータは必ず提供するものとし、それ以外の項目については、各病院の判断に基づき任意に記入するものとした。

図表 5 一般原価調査で収集したデータ

ファイル名	内容
入力ファイル①	<u>部門設定に関する情報、施設全体収支データ</u>
入力ファイル②	医業収益、 <u>給与費の直接計上</u> （一次計上）
入力ファイル③	材料費の直接計上（一次計上）
入力ファイル④	経費、委託費、研究研修費の直接計上（一次計上）
入力ファイル⑤	減価償却費の直接計上（一次計上）
入力ファイル⑥	<u>基礎情報</u>

注1：斜体字は、入力必須項目を表わす

注2：いずれも、原則として平成16年6月時点のデータとした。

- なお、平成15年度調査研究の課題を踏まえ、以下のとおり対応し、より精緻な部門別原価計算を実施した。

入力ファイル①	部門設定では、後に利用するレセプトデータとの齟齬を解消するために、各病院における標榜診療科と、診療報酬請求時の診療科との対応関係を明らかにした。
入力ファイル④	委託費に検査委託費や給食委託費が含まれる場合、それらを一体的に扱うべきでない（該当する部門へ直課・配賦を行うべき）と考えられるため、これまでの病院会計準則に則った調査票を改良し、委託費を細分化、新たに「検査委託費」「給食委託費」等を設けた。
入力ファイル⑥	基礎情報では、二次配賦において補助管理部門の配賦をより精確に実施するため、新たに各部門における物品払出量と情報端末台数のデータを収集した。

(ii) 医師勤務時間調査

- 平成15年度調査研究では、診療科別に5名程度の医師を抽出し勤務時間調査を実施した。しかしながら、回答者の勤務パターンが必ずしも標準的なものでない、十分なデータ量が確保できない等の問題が生じていた。
- このため、平成16年度調査研究では、医師の勤務実態を正確に把握し、より精緻な配賦基準を設定するために、対象病院に勤務する医師全員に対して、常勤・非常勤を問わず調査を実施した。
- 調査に当たっては、医師への負荷を考慮し、調査期間内の1日の勤務実態（勤務場所と勤務時間）を各医師が概ね30分単位で記入する方法のほかに、医師には病棟・手術室・検査室・画像診断室のみの通算勤務時間を記入してもらう簡易な方法も提示して、調査対象病院の選択制にした。

図表 6 医師勤務時間調査の概要

調査期間	平成17年3月における連続する1週間
調査対象	全医師（常勤・非常勤を問わない）
調査方法	次のいずれかの方法で実施した。 <u>方法1</u> 7日間の勤務実態（勤務場所と勤務時間）を、各医師が概ね30分単位で記入する。 <u>方法2</u> 7日間の概ねの勤務実態（病棟・手術室・検査室・画像診断室のみの通算勤務時間）を、各医師が記入する。事務部門では、上記以外の通算勤務時間と、当該医師が主治医として担当する患者数、そして治療を担当する患者数を各々記入する。

② 特殊原価調査

(i) 平成15年度調査研究の等価係数

- 平成15年度調査研究の三次配賦で使用した等価係数については、ある特定の1病院におけるデータをもとに作成された数値であり、各病院の実状に即したものであるかは確認できていなかった。

図表 7 平成15年度調査研究における等価係数

◆ 「手術」部門の等価係数 【給与費の配賦に用いる等価係数】

内科系	2万点未満	0.02	形成外系	2万点未満	0.00	眼科系	2万点未満	0.20
	2万点以上	0.31		2万点以上	0.31		2万点以上	0.20
皮膚科系	2万点未満	0.01	産婦人系	2万点未満	0.31	口腔外系	2万点未満	0.11
	2万点以上	0.31		2万点以上	0.31		2万点以上	0.02
外科系	2万点未満	1.00	泌尿器系	2万点未満	0.25	脳外科系	2万点未満	0.07
	2万点以上	1.35		2万点以上	0.33		2万点以上	0.70
胸部外系	2万点未満	0.05	耳鼻科系	2万点未満	0.31	小児系	2万点未満	0.31
	2万点以上	0.18		2万点以上	0.31		2万点以上	0.31
心臓外系	2万点未満	0.10	整形系	2万点未満	1.01	小児外系	2万点未満	0.07
	2万点以上	0.97		2万点以上	0.21		2万点以上	0.01

※「内科系」とは、手術を受けた患者の主たる診療科が内科である場合を表している。

※表内の「2万点以上」、「2万点未満」とは、レセプト点数を指しており、同じ診療科名の患者であっても手術内容による違いが考慮されるよう区分けをしている。

※表内の数値は、「外科系」の「2万点未満」を1とした場合の人的資源の投入比率を表している。

【材料費・経費の配賦に用いる等価係数】

内科系	2万点未満	0.62	形成外系	2万点未満	0.52	眼科系	2万点未満	0.95
	2万点以上	3.33		2万点以上	3.33		2万点以上	4.24
皮膚科系	2万点未満	0.06	産婦人系	2万点未満	3.33	口腔外系	2万点未満	1.54
	2万点以上	3.33		2万点以上	3.33		2万点以上	3.33
外科系	2万点未満	1.00	泌尿器系	2万点未満	0.96	脳外科系	2万点未満	20.89
	2万点以上	2.57		2万点以上	4.85		2万点以上	5.89
胸部外系	2万点未満	2.51	耳鼻科系	2万点未満	3.33	小児系	2万点未満	3.33
	2万点以上	2.74		2万点以上	3.33		2万点以上	3.33
心臓外系	2万点未満	2.57	整形系	2万点未満	2.68	小児外系	2万点未満	0.43
	2万点以上	13.94		2万点以上	3.33		2万点以上	3.33

※「内科系」とは、手術を受けた患者の主たる診療科が内科である場合を表している。

※表内の「2万点以上」、「2万点未満」とは、レセプト点数を指しており、同じ診療科名の患者であっても手術内容による違いが考慮されるよう区分けをしている。

※表内の数値は、「外科系」の「2万点未満」を1とした場合の人的資源の投入比率を表している。